

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年3月9日（月）

2 確認箇所

- ・物揚場
- ・1／2号機共用排気筒（1／2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

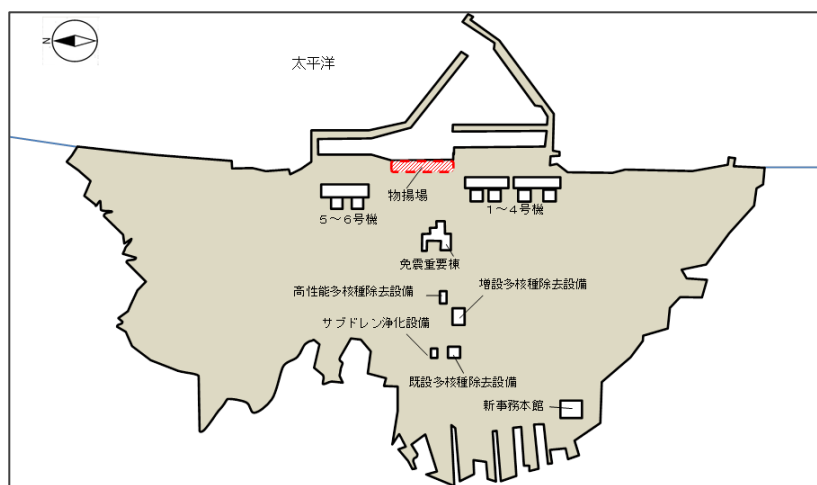
- （1）海水サンプリング業務における人身災害の再発防止対策の状況
- （2）1／2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

- （1）海水サンプリング業務における人身災害の再発防止対策の状況について
令和元年5月17日午前7時頃、発電所構内物揚場付近（図1）において、海水サンプリングのため作業船に乗船しようとした協力企業作業員がゴム製の垂直梯子から手を滑らせ転落した。その際、船の甲板の角付近に腰を強打し海に転落した。その後、緊急搬送の必要があると判断され、病院において仙骨骨折（全治1ヶ月）と診断された。

東京電力は本事象の原因分析を行い、鋼製の垂直梯子の設置や仮設の浮栈橋の設置等の措置を講じていたが、恒久対策である本設の浮栈橋が完成したことから、現場状況を確認した。

- ・仮設の浮栈橋は撤去され、新たに本設の浮栈橋が4基設置されていた。（写真1）
- ・本設の浮栈橋は潮の干満に追従して上下に可動する構造となっていた。（写真2）



（図1） 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
 前回 (令和元年 7 月 22 日) 撮影



(写真 1 - 2)
 今回 (令和 2 年 3 月 9 日) 撮影



(写真 2)
 本設の浮棧橋

(2) 1 / 2 号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2 号機共用排気筒解体工事は昨年 8 月 1 日から作業を実施しており、排気筒上部の約 60m を 23 ブロックに分けて解体する計画のうち、12 ブロック目の筒身の解体が 3 月 7 日に完了したことから状況を確認した。(写真 3)

なお、当初は 12 ブロック目の鉄塔を解体後に 13 ブロック目の筒身を解体する計画であったが、作業計画の見直しにより 13 ブロック目の筒身については、2 月 29 日に解体が終了している。

- ・現場確認時 (11 時 15 分頃)、14 ブロック目の解体に向けて、1 / 2 号機開閉所前において解体装置の点検が行われていた。(写真 4)



(写真 3)
 排気筒頂部の状況



(写真4)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。